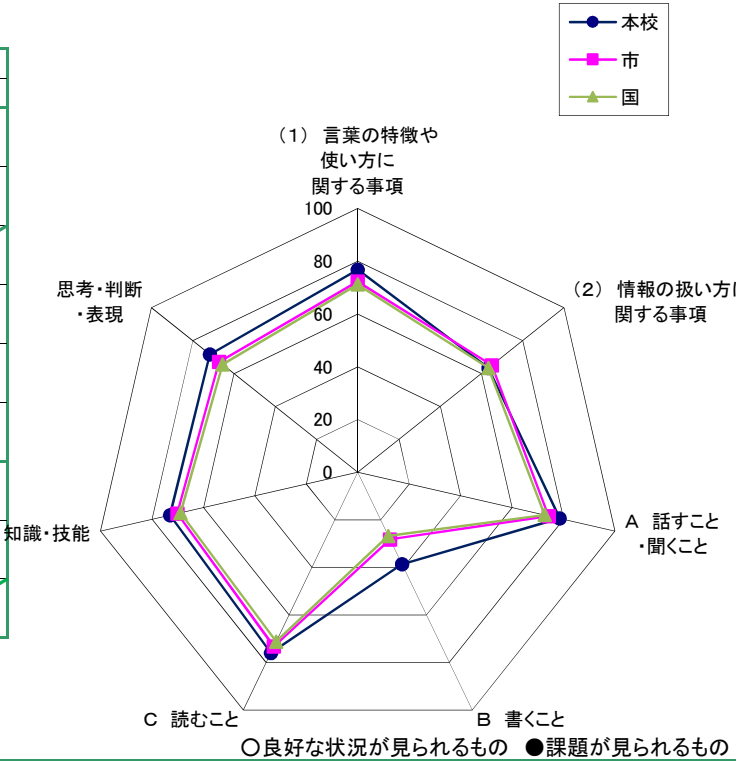


宇都宮市立富士見小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	76.8	72.3	71.2
	(2) 情報の扱い方にに関する事項	63.4	65.0	63.4
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	78.5	74.2	72.6
	B 書くこと	38.6	28.2	26.7
	C 読むこと	75.9	73.3	71.2
観点	知識・技能	73.0	70.2	68.9
	思考・判断・表現	71.7	67.2	65.5
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方にに関する事項	○本領域の平均正答率は76.8%で、国の正答率を5.6ポイント上回った。 ○「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使う」の平均正答率は97.0%で、国の正答率を3.9ポイント上回った。 ●「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」の平均正答率は、国の正答率を9.6ポイント上回ってはいるが、62.4%であった。	・新出漢字を学習する際、例文や熟語など文中での使用を意識した練習を行うとともに、当該学年までに配当されている漢字についても、文や文章の中で使うことができるように指導していく。
(2) 情報の扱い方にに関する事項	○本領域の平均正答率は63.4%で、国の正答率と同じだった。 ○「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う」の平均正答率は65.3%で、国の正答率を3.3ポイント上回った。 ●「原因と結果など情報と情報との関係について理解している」の平均正答率は61.4%で、国の正答率を3.3ポイント下回った。	・文章と資料を関連させて読む活動については、国語だけでなく、総合的な学習の時間を中心に教科横断的に取り組んできた。今後も引き続き指導していくとともに、社会や理科の授業においては、原因と結果を意識した資料の読み取りや実験のまとめ等を行っていく。
A 話すこと・聞くこと	○本領域の平均正答率は78.5%で、国の正答率を5.9ポイント上回った。 ○「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」の平均正答率は79.2%で、国の正答率を9.0ポイント上回った。	・引き続き、スピーチや授業において友達の発言や教師の話聞く際には、話し手の意図や内容の中心を意識して聞くように指導する。また、話し合い活動において、自分の立場をはっきりさせながら相手の話を聞いたり、自分の考えを述べたりするよう指導していく。
B 書くこと	○本領域の平均正答率は38.6%で、国の正答率を11.9ポイント上回った。 ●「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」の平均正答率は、国の正答率を11.9ポイント上回ってはいるが、38.6%であった。	・授業や日常の書く場面等において、構成や字数などの条件を基に文章を書くことに取り組ませてきた。今後は、資料を基に自分の考えを書くなどの条件を設定し、文章を書く経験を積み重ねていく。
C 読むこと	○本領域の平均正答率は75.9%で、国の正答率を4.7ポイント上回った。 ○「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」の平均正答率は93.1%で、国の正答率を3.1ポイント上回った。 ●「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」の平均正答率は、国の正答率を2.2ポイント上回ってはいるが、58.4%であった。	・今後も、パンフレットや新聞など、多様な形態の文章を読んで内容を捉える活動に取り組ませるとともに、読んで分かったことを自分の言葉でまとめたり、自分の考えを書いたりする活動にも取り組ませていく。

